

2月16日 東京都議会 平成23年 第1回定例会

一般質問の概要 質問者 馬場 裕子

人とモノの移動の権利を保障し、 利用者の視点から東京の交通施策を見直す。 東京都交通基本条例の制定を!

01 東京の交通施策、人とモノの移動権の保障を伴う成熟都市の総合交通システム構築について

東京は、大都市として、鉄道、バス、タクシー、船舶、航空機、自動車、自転車など、あらゆる交通手段を持ち、それらの適切な組み合わせ、ベストミックスにより、世界との交流、国際競争の激化に対する経済対策としても積極的に取り組んでこられました。

障や、環境に配慮した総合的な都民目線の交通体系を再構築することと考えます。人と物の移動は経済社会の基盤をなすものです。

都議会民主党は、さまざまな交通関係者から多くの要請を受け、交通問題は全庁を挙げて取り組むべき基本政策ととらえ、交通施策窓口一本化を図るべきと求めてまいりました。

今後の課題は、交通社会資本を活用し、人と物の移動権の保

- ◎ 今後の総合交通施策の展開について知事の所見を伺います。
- ◎ 東京の交通インフラを重層的・複合的に展開し、快適で利便性の高い都市としていく。

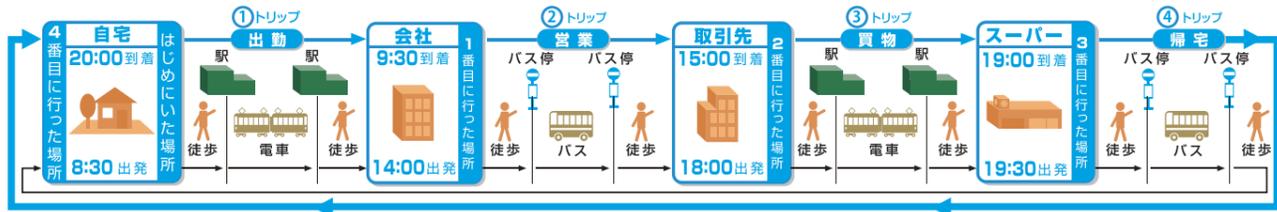
02 パーソントリップや物流調査などデータの収集・利用について

東京周辺においては、国や都などが東京都市圏交通計画協議会を組織し、人や物の動きを広域的に把握するため、パーソントリップ調査や物資流動調査を実施しています。最近10年の鉄

道と道路の整備は目覚ましく、両調査とも10年に1度の頻度では東京の変化に間に合わないのではないかと心配します。

- ◎ これらの調査結果や収集データは、東京の交通政策にどう生かされていますか。
- ◎ 区部や多摩地域における「都市計画道路の整備方針」や「総合物流ビジョン」の策定のほか、鉄道新線の需要予測や駅周辺整備計画の検討、市街地再開発事業の環境影響評価書の作成など、調査の結果が幅広く活用されている。

「トリップ」って何? ●ある目的による出発地から目的地までの移動を1トリップとし、そのトリップの詳細を調査しています。下図は1日の移動の例を示したものです。この例では、自宅を出てから会社へ行く通勤目的のトリップが1回、会社から取引先へ行く業務目的のトリップが1回、取引先からスーパーへ行く買物目的のトリップが1回、スーパーから自宅へ行く帰宅目的のトリップが1回という、4回のトリップからなっています。



03 東京都交通基本条例の制定に向けて取り組むことを要望

東京の交通施策は東京が自ら考えるべきです。物流や防災の視点で主要幹線道路の整備は必要です。東京も高齢社会となり、生活者の視点から見れば、脆弱な生活道路である地域細街路の整備も急がれます。

今、国においても、交通基本法制定に向けて検討中ですが、東京こそ、一日も早く、人と物の移動の権利を保障することを基本理念とする交通基本条例を制定することにより、発展した各種交通手段の最適な組み合わせ、環境を中核とする交通革新の実現が可能となります。

だれの家の前にも必ず道路があります。私たち人間は集団で生活し、移動手段として道路をつくってきた歴史があります。

04 口蹄疫など世界的規模で発生している伝染病への危機管理体制と食肉市場の環境整備について

05 教員のメンタルヘルス対策について

学校では教員全体が多忙感を強めており、病気休職者数はこの10年で2倍となり、内約7割が精神疾患という状況です。ス

トレスの原因を探り解消することが求められています。全教職員に対するストレス検査の試行と実施について伺います。

06 都立定時制高校の募集枠を確保し、教育の充実に務めることについて

昨年は中学卒業生の増により定時制が300人の追加募集をすることとなり入学決定が4月になりました。多様な教育を担う

定時制高校の学びの場を確保し、自立支援の充実に務めること。

公営企業委員会の所管事業 質疑 抜粋

- ◎ 交通局 都営バス、都営地下鉄、都電他運営
- ◎ 水道局 水源の維持からおいしい水の配水まで
- ◎ 下水道局 下水・雨水の処理、ポンプ所や雨水貯留池設置による浸水対策

2010.11.10 下水道局質問概要

品川区は東京湾に面しているため、大雨が降ると雨水で希釈された下水が立会川・目黒川から運河に放出され、永年悪臭や水質汚濁の被害を被ってきました。私は合流式下水管の改善や雨水の地下浸透、更に雨水貯留池や調節池の設置による水害と水質浄化を強く訴えてきました。

最近はその効果が見えるようになり、勝島運河の花海道をはじめ目黒川の親水型護岸設備、運河への棧橋設置などによりボートやカヌーでの水辺を楽しむ活動が進められています。今後、閉鎖性水域である勝島運河水質改善のため、現立会川下部への下水道幹線工事計画を着実に進めて頂きたい。

- Q 高度処理した下水は再生水として利用の拡大を図るべきと考えますが?
- A 再開発地域などの大規模事業所や集合住宅、散水や清掃事業など利用を進めているが、一般住宅には給水方法が無く、今後の課題。

2010.11.10 水道局質問概要

「ダムより人」 都議会民主党は、八ッ場ダム建設見直しについて東京の水需要予測の改訂を求めています。そもそも、100年に1度と予想される「治水」対策の基本データが不確定であること。また、東京の水資源確保対策として「利水」の必要性も低いことが水道利用量から明らかです。それでも今年1月、今回5年ぶりに再提出された八ッ場ダム事業評価書は、前回同様に継続を決定。

- Q 事務事業評価をなぜ行ったのか。
- A 国土交通省から生活再建事業22年度負担金23億7000万円を求めてきていて、厚生労働省に事業継続申請をすれば、1/3の7億9000万円が補助金として出るため。
- Q 平成元年から給水人口は110万人増だが、雑用水利用等で大口利用者は減少し、水道使用量は1日当たり平均約420万●で推移しています。漏水率も11%から3%と向上し、生活様式も空調・節水型器具使用が進みました。東京の水道需要予測を早期に見直すべきと考えますが?
- A 浄水場等の更新時期を迎え、水道施設の再構築に向けた基本構想を平成23年度内に策定する。水道需要の見直しについては、この基本構想の中で示していく。

The map shows the Minami-Shinjuku area with projects A, B, and C. Project A is the Aomori Water Treatment Plant. Project B is the Aomori Rainwater Storage Pond. Project C is the Aomori Pumping Station. Other features include the Sagami River, Sagami Canal, and various bridges and roads.

《品川区内の都事業のお知らせ》

- A 警視庁鮫洲運転免許試験場 庁舎棟改築建て替え工事 竣工予定日平成25年7月31日
- B 下水道局鮫洲雨水貯留池上部埋立公園 広さ約6,700㎡ 開園予定平成24年4月
- C 下水道局勝島ポンプ所 勝島運河の水質改善のため汚水・雨水ポンプ棟 使用開始予定平成24年4月

- しながわ花海道 勝島運河の防潮堤 山桜の花見、春は菜の花 秋はコスモス植栽 蝶の食草園、じゃこうあげは他蝶の楽園づくり
- 勝島運河クラブと浜川ポンプ所前浮き棧橋 ハゼが遊上し、鳩やカモメが遊ぶ水辺を楽しむ カヌーづくりなど近隣学校と連携